金井インターン活動報告書！

金井ひろしレポート No.32　編集発行人：目黒区議会議員　金井ひろし
〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303　TEL：080-5195-2909

未来自治体

私たちは、インターン先である目黒区をより良い街にするため「多世代共生社会の実現」をビジョンに掲げ、３つの政策を立案しました。チーム内で何度も議論を重ね内容を磨き上げた結果、首都圏大会で優勝し、全国大会へと進出することができました。この経験を通じて、目黒区が抱える問題点を認識するだけではなく、協働の重要性を理解し課題解決力を身につけることができました。（さお）

総選挙

２月上旬にあった衆議院議員総選挙に際して、私たちインターン生は金井さんと縁の深い候補者のお手伝いをさせていただきました。この活動を通していくつかの発見がありました。一つは「政治家個人の能力はものすごく高い」ということでした。世間一般的に政治家への有権者が抱くイメージはネガティブな意見が多数を占めており、それに引っ張られ、私もインターン前は政治家個人をしっかり観察したことはあまりしてきませんでした。しかし、２月の１週間程度、候補者の「台本を見ずに自身の主張を発信する」「はきはきと声を出して有権者と対話する」等、社会人にとっては当たり前に思われるかもしれませんが、まだまだ未熟な私にとっては求められる能力は非常に高いなと感じました。

もう一つは、「選挙時の細かいルール」です。テレビでの選挙の報道は毎回見ていたので、インターン前、選挙についての知識は完璧だろうと今ではお恥ずかしながら自信を持っていました。しかし、公平性を保つため配布できる（作れる）ビラ枚数には決まりがあること、ビラ配りをする人は腕章をつけなければならないこと、得票率が１％を超えると印刷代が返ってくることなど、インターン初日に事細かに説明を受け、自分がどれだけ無知かを思い知らされました。一方で、選挙活動も法で守られているからこそ、民主主義が保障され、さまざまな意見が国会で反映されるのだと後に腹落ちし、法システムを感じながら選挙活動を楽しむことができました。（こうたろう）





予算特別委員会

予算特別委員会を通して、自治体の予算がどのように決められているのかを具体的に知ることができました。単にお金の配分を決める場ではなく、それぞれの政策の必要性や優先順位について議論が行われている点が印象的でした。特に、限られた財源の中でどの分野に重点を置くのかという判断には、地域の課題や将来像が大きく関わっていると感じました。また、議員と行政側のやり取りを通して、細かい部分までチェックが行われており、予算の透明性や妥当性を確保しようとする姿勢が見て取れました。一方で、専門用語や前提知識が多く、理解が難しい部分もあったため、区民にとってより分かりやすい説明や情報発信が必要だと感じました。（こうき）

区長面談

こうたろう

青木区長と区の職員のやりたいことが一致しなかった場合、どのように区長は対応するのかお尋ねしたところ、「もちろん最後は区長権限だが、ボトムアップで職員とやりとりを重ねてさらによりよい区政にしていく」というお言葉が一番印象に残りました。大学では学べない、首長と自治体職員の協力・連携について詳しく教えてくださり、楽しい時間を過ごさせていただきました。

さお

金井さんが青木区長とお話をする機会を作って下さったと知った時から、青木区長とお会いする直前までずっと緊張していました。私は目黒区民ではありませんが、自分の住んでいる区のトップとでさえ会ったことがないですし、怖い方だったらどうしようとさえ思っていました。しかし、区長として全ての分野に力を入れることを大前提としながらも、実は福祉に特に注力したいという思いを知り、また終始優しく接してくださったこともあり、大変充実した時間となりました。





こうき

区長面談のお話を聞いたときは何を話せばいいかわからなかったしそんな機会めったにないので不安と楽しみが混ざってました。実際にお会いした際にとても雰囲気よく緊張している我々を和ませてくれてそこから普段聞けないようなことを聞けてとても勉強になりました。

まこ

インターン生の中で唯一の目黒区民として、区長と直接お話しする機会をいただけたことは、とても貴重な経験でした。目黒区が現在抱えている課題や、その背景にある構造的な問題まで丁寧に説明してくださり、普段生活しているだけでは気づけない視点を数多く得ることができました。自分の住む地域がどのような仕組みで支えられ、どんな課題に直面しているのかを知ることで、目黒区政への関心はこれまで以上に深まりました。

今回の経験を通じて、地域の政治や行政を「遠いもの」ではなく、自分の生活と密接に関わるものとして捉えられるようになりました。これからも目黒区の動きにしっかり目を向け、学んだことを活かしながら、地域に対する興味と関心を持ち続けていきたいと思います。

以下インターン生４人の紹介です

こうたろう

INFP（仲介者）。日本史と鉄道をこよなく愛し、インターン生で話し合うときは日程調整を進んでしてくれる頼れる男。持っている引き出しが豊富で、１つ知らないことを聞くと10で返してくれる博識さ。でも決してひけらかさない謙虚さも彼の魅力の１つです。一見まじめな彼ですが、オレンジジュースでお腹一杯になっていたり、ちいかわのうさぎの物まねをしてくれたりと、こうたろうがいるとみんなが笑顔になる、愛されキャラです！（さお）

まこ

ISTJ（管理者）。途中から金井インターンに参戦してくれた仲間でプレゼンで行き詰っていた我々を救ってくれた救世主的存在！その持ち前の頭脳で的確なアドバイスをしてくれて我々を全国に導いてくれたプロフェッショナル！歌も上手でみんなでカラオケに行ったとき一人だけずっと高得点出してました笑。こんなまじめなキャラですがお酒が弱く一人だけ寝ようとしてました笑。そんな意外な一面もある素晴らしい存在です！（こうき）

こうき

ISFP（冒険家）。抜群のコミュニケーション能力で初対面関係なく、いつの間にか友達が増えている。自分も彼のその能力にいつも助けられ、彼がいなければ自分は女子インターン生２人とこんなに仲良くなれなかっただろう。そんな彼の趣味はカラオケ。もはや４大欲求と言えるほどカラオケが大好き。平井堅のような美声でみんなを魅了している。また、口を開けば彼女との出来事を話し、「早く彼女と同棲したい」が口癖になっている。三度のメシより彼女を愛してやまない一途者である。（こうたろう）

さおりん

ISFJ（擁護者）。いつもニコニコで場をふわっと明るくしてくれる可愛いお姉さんキャラ。なのに免許の学科試験当日に住民票を忘れるという、お茶目すぎる一面も持ってる人☒最近彼氏とケンカしたらしいが、多分悪いのは彼氏の方。インターン中も会話をきれいにまとめてくれたり、場をなごませてくれたりと、とても頼れる存在です!!（まこ）

国会見学

こうたろう

しばしば国会中継を家で拝見していましたが、実際に国会で解説を聞き、今まで当たり前に思っていたものに驚きが止まることなく、楽しい時間でした。例えば本会議場での議員席の並び順について、期数が短い若い議員から野次の役割を担うとして前側の席に配置され、議席数が多い政党順に横方向に席が配分される、というものなどです。今後はさらに広い視野で国政を注目できそうです。

さお

小学６年生ぶりの国会見学はとても楽しく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。見学の中でも特に印象に残ったのは中央広間の銅像です。そこには板垣退助、大隈重信、伊藤博文の銅像が立っている一方４人目のための台座が空いていました。解説してくださった方が、４人目のための台座が空いているのは民主主義に完成はないからと言っていたことが興味深かったです。今回の国会見学を通じ、政治をより身近なものとして捉えられるようになりました。

こうき

国会見学は今回が初めてだったのでとてもワクワクしてました。議員秘書の方に案内してもらい、とても丁寧な説明とともに気楽に接してくれて国会が大好きになりました。傍聴席が座りにくかったり、色々印象に残ることが多かったですが特に印象に残ったことは皇族の方々が休まれる部屋が70億円もかけられているにも関わらず全然使われていないということが面白かったです。

まこ

小学校の時以来の国会見学でしたが、子供の時に見た国会と、大学生になった今見る国会は全く違って見えました。政治を学ぶようになった今、そこで行われている議論の重さや制度設計の複雑さをより具体的に、身近に感じとることが出来ました。実際の議場を目にすると政治がいかに歴史の積み重ねによって成り立ってきたのかを実感でき、また、国会という場が持つ緊張感や歴史の重みを肌で感じたことで、政治に関わる責任の大きさについても改めて考えさせられました。理論と





して学んできたことが、現場に触れることでより立体的になり、自分が学んでいることの意味を再確認する機会になりました。今回の見学は、政治を「知識」としてではなく「現実」として捉える視点を与えてくれた貴重な経験でした。これからの学びにも確実につながっていくと思います。

金井インターンの感想

こうき

私は金井さんの下でインターンを経験して自分で行動する重要性にがいかに大事なのかを理解することができました。何をするにあたっても自分から行動しない限り周りは助けてくれないし、成長もできないのでこの二か月間でとても成長できました。また、環境にも恵まれていて最高の仲間に出会えて青春できた二カ月でもありました。特に選挙活動で蓮舫さんと写真撮った時めちゃかわいいなと思いました。そして金井さんは私の体調が悪い時も無理強いせず優しくしてくれて野原ひろしかと思いました。二か月間ありがとうございました。

こうたろう

私はこのインターンシップを通して「人と話すことの重要性」を知ることができました。話すことで、お互いのことがよく分かり、仲良くなれたときには一緒になって特定の問題について話し合い、一人では生まれなかったアイデアも浮かぶことができる、それを嫌というほど痛感しました。自分は今まで積極的に人と関わることが得意ではなく、避けてきたためインターン中慣れないところもありましたが、人と積極的に話すことはメリットが計り知れなかったです。自分にとって非常にレベルの高いことですが、「対話」は社会をより良くするために必要なことであるのには変わりないため、心がけて参りたいと考えております。笑いあり涙なしの二か月間でした。金井さん、そしてインターン生のお三方、本当にありがとうございました。

まこ

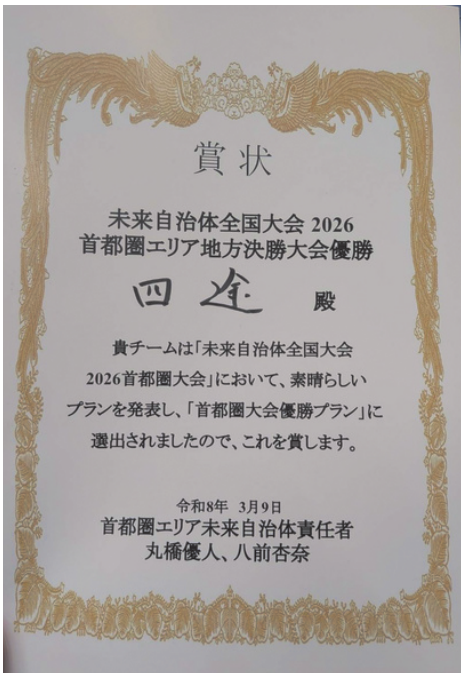
私は今回のインターンを通じて「現場に出ることの重要性」を学びました。実際に自分の住んでいる地区に足を運び、住民が抱えている課題や、地区そのものが直面している問題を丁寧に深掘りしていく中で、現場を知らずして実効性のある政策は作れないということを強く実感しました。大学では政治理論を学んできましたが、理論だけでは政治は完結しない。むしろ、理論は現場のリアリティに触れたときにはじめて意味を持つのだと気づかされました。住民の声は一人ひとり異なり、課題の背景には生活の積み重ねや地域固有の事情があります。机上では見えなかった複雑さや温度感に触れることで、政策づくりには「現場の理解」が不可欠であるという当たり前のようでいて難しい事実を、身をもって学ぶことができました。２ヵ月間本当にありがとうございました。

さお

私は、今回のインターンで人と繋がることの大切さを学びました。金井さんと出会って、以前から関心のあった福祉の場に行くきっかけができ、そこで知り合った方から障害児ボランティアを紹介してもらいました。インターンを始めて、ただ福祉に興味があるだけで、その分野に精通している方と知り合いでもなければ、現場にも殆ど行ったことがないならば、行動していないのも同然だと痛感しました。この２ヶ月間を通して金井さんをはじめ福祉に携わっている方と繋がれたこと、ワークショップ等に参加したことは福祉に少し詳しくなれただけではなく、人と繋がることで自分の世界が何周も広くなると学べた機会でもありました。これらは金井さんが私をインターン生として迎え入れてくださったから体験でき、学べたものです。２ヶ月間ありがとうございました！






賞状

未来自治体全国大会 2026
首都圏エリア地方決勝大会優勝

四 途 殿

貴チームは「未来自治体全国大会
2026首都圏大会」において、素晴らしい
プランを発表し、「首都圏大会優勝プラン」に
選出されましたので、これを賞します。

令和8年 3月9日
首都圏エリア未来自治体責任者
丸橋優人、八前杏奈